

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- キーワード検索
- 報

ホーム レポート

レポート 2026.02.02

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！

- お魚博士
- カクレクマノミ
- さかなクン
- さかなクンの魚愛と知識はすごい
- サメ
- ソラスズメダイ
- トークショー
- フグ
- ミノカサゴ
- メゴチ
- ラグーナテンボス
- 海と日本プロジェクト
- 海と日本プロジェクト愛知
- 蒲郡市



1月25日、愛知県蒲郡市にある「ラグーナテンボス」で開催されたのは、子どもたちが大好きなお魚博士・さかなクンによるトークショー。会場にはお魚の帽子をかぶった子どもたちが、ワクワクした様子でさかなクンを待っていました。本記事では、そんな大人気トークショーの模様をギョ紹介します。

アーカイブ

THE NIPPON FOUNDATION 海と日本PROJECT in 愛知県

三河湾や伊勢湾などに囲まれた愛知県。海と野山と都市のバランスよい構成が特色です。養殖など沿岸漁業がさかんで、特にあさり類、くるまえばは全国でも有数の漁獲量を誇ります。

「海と日本プロジェクトin愛知県」ではこのような愛知の海の豊かさや多様性を伝えることで皆さんに興味を持ってもらい、海と共生するムーブメントを起こすことを目的に活動しています。

テレビ愛知

Pick up

おやつ感覚で食べられる”炙りさんま 甘露煮仕立...

【海ノ民話アニメーション】南知多町・日間賀...

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登...

おすすめタグ

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッと登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



- ホーム
- About
- お知らせ
- イベント
- レポート
- 番組情報



浦郡市



海と日本プロジェクト公式サイトでは、全国の海に関する情報を発信中です！



2026.04.03

世界初！複数の無人運航船を陸上から同時に支援 | 日本財団「MEGURI2040」が加速させる海運DXと社会実装の最前線

会場一体となって「せーの、さかなクーン！」と呼び込むと、「どうも！ギョギョー！こんにちは〜。うお〜！ さかなクン、さかなクン、お会いできてとてもうれしいです！ すぎよいですねー！」と舞台裏からピョ〜ンっと登場！

“55秒”でお魚イラストを描き上げる！



最初のコーナーは、会場のお友だちから好きな魚をリクエストしてもらい、さかなクンがその場でイラストを描き上げるイラストコーナー。なんと、お魚のイラストをギョギョギョギョギョッと、55（ギョジュウギョ）秒で描きながら、魚について解説します。

さっそくさかなクンが「みんなのお好きなお魚を〜」と募ると、会場のあちこちで「ハイ！ ハイ！」と手が挙がりました。



とうやさんからリクエストされたのは「カクレクマノミ」。「かわいいですね〜！」と、55秒という制限時間のもと、“イソイソ”と描き始めるさかなクン。

「カクレクマノミちゃんは、イソギンチャクちゃんと仲良く暮らしています。イソギンチャクちゃんには、糸こんにゃくのようにふさふさした“触手”があります。この触手には毒があって。多くのお魚は『痛いよ！ 助けてー！』と逃げてしまいますが、カクレクマノミちゃんの体には、このイソギンチャクちゃんに刺されないための特別な粘液が分厚くあり、一緒に暮らしても大丈夫なんです」



また、性別に関する驚きの事実も。

「カクレクマノミちゃんは体が大きいほうがお母さん、小さいほうがお父さんなんです。夫婦仲良く暮らしているんですね〜」と、かわいらしいイラストと共に教えてくれました。



続いて、みづきさんからリクエストされたのは「ミノカサゴ」です。



「このミノカサゴちゃんに狙われたお魚ちゃんたちは、『うわ～目が回る～』と催眠術をかけられたように、動けなくなってしまうんです」と、体をくらくらとさせながら解説するさかなクン。美しさの中に隠されたこわ～い捕食の仕方に驚きました。

まさかのタイムアップ!? サメちゃんは延長戦に

次は3人の子どもたち、きのさん、しゅかさん、にじかさんからのリクエスト「ソラスズメダイ」「メゴチ」そして「サメ」の3匹を1枚の紙に描くことに。「メゴチ！」のリクエストに、さかなクンも思わず「渋い…」と一言！



「どのお魚も愛知県の海に暮らすお魚ちゃんです。まずソラスズメダイは、非常に浅い海に暮らしていて、海では上から見かけることもできて、4センチ～5センチの小さな小さなかわいらしい空色のお魚です」

一方、天ぷらにするととてもおいしいメゴチは、実は“ネズミゴチ”とも呼ばれていたそう。お客さんから「ぎえ～！ネズミが出るのー!？」と勘違いされやすいため、メゴチに変更したという話もあるといいます。

と、ここでまさかの時間制限の55秒に！ 子どもたちから「頑張れー！」とたくさんのおエールが飛び交う中、MCのお姉さんから「残り10秒！」の助け舟が出ました。

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



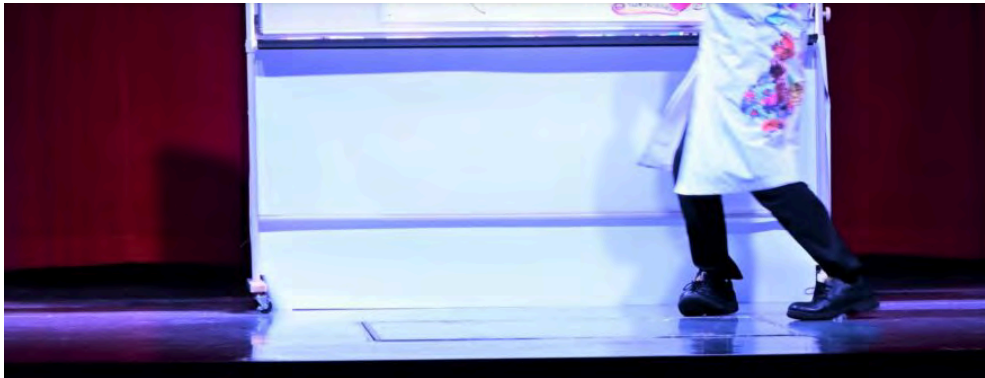
「あれ…え！ お姉さん！ 延長……。ギョめんなさい、皆さま！ ありがとうございます！ ギョざいます！」と大慌てで筆を走らせながらも、見事にカッコいいサメちゃんを完成させました。

ぷくーっと膨れるからフグになった!?



そして、えみさんからは「フグ」のリクエストが！

「フグは危険が迫るとぷくーっと膨れますよね。この膨れることからフグになったといわれています」



なぜ、漢字では“河の豚”と書いてフグなのでしょうか？

「中国には河にフグがいるんです！ 漢字は中国から日本へ伝わったもの。河にいる豚さんみたいにブーブー音を鳴らす魚だー！ ということで、フグと付けられたんです。ちなみにフグは、歯ぎしりをして音を出します」

日本のフグは海にいるから“海に豚”でいいんじゃないの？ とも思いますが、「海豚」はイルカの意味。お魚の漢字の成り立ちも教えてくれるさかなクンのお話には、筆者も釘付けになりました。

後半は、さかなクンのギョ質問コーナー！



イベント後半には、会場の子もたちからの質問にさかなクンがイラストを描き



「メンダコはとってもデリケートで、水族館での飼育は難しいですが、最近では技術が進んで長く飼育できるようになり、水族館で卵から赤ちゃんが誕生したこともあります」と、最新の研究成果も教えてくれました。

クラゲの“4つの目”の秘密



次は、かずふみさんと、ともやさんからの「クラゲ」についての質問です。「愛知県さまの海でも一番よく出会えるクラゲちゃんですね」とさかなクン。



ちなみに4つの模様に着色していないときは「お腹がペコペコだよ～」というサイン。水族館で見るときのポイントとして、「飼育員さんが食べ物をあげて、ミズクラゲちゃんがプランクトンを食べるとその色になるので、お腹がいっぱいかどうか分かりますよ！」と、アドバイスもしていました！

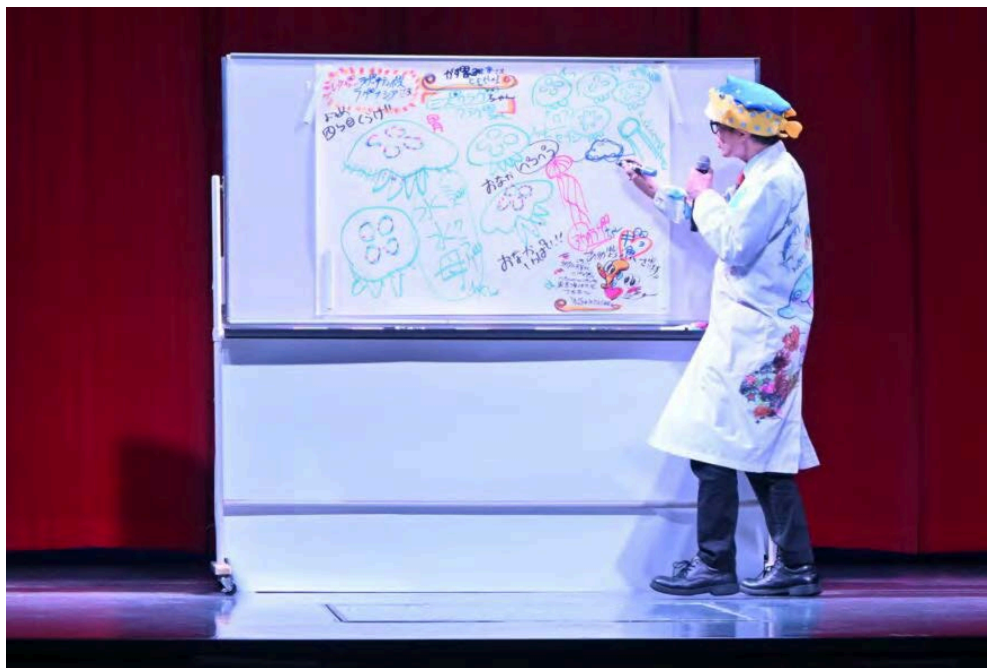
しかも、模様が“3つ”の個体もあるそう。さかなクンはこの模様が7つ、ラッキーセブンのミズクラゲちゃんを見つけたそうです。ぜひ皆さんも探してみてください！

おいしそうな餃子とラーメンにご用心!?

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



さらに「ギョギョッとする危険なクラゲちゃんもいる」と紹介されたのは、カツオノエボシ（別名：電気クラゲ）。その見た目の例えが、さかなクンならではの素敵な感性でした。



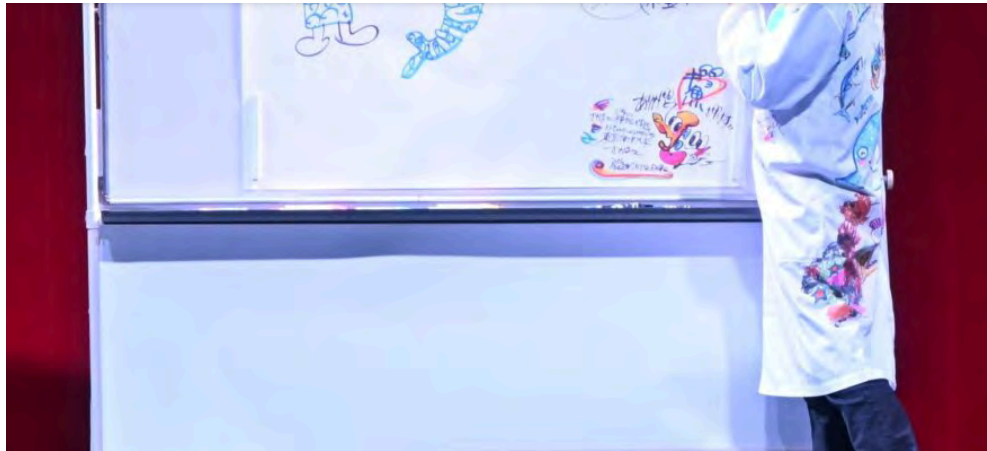
「海の上に、なんだかおいしそうなお餃子みたいなのがプカプカ浮いているんです。『わあ～餃子みたいで面白い～』と思って近づくと……その下には、カップラーメンのお湯を注ぐ前の麺のように、クネクネしたものが付いています」

でも実は、恐ろしい猛毒！

『面白そう！ おいしそう！』と思って触ると、ビリビリ！と電気が走ったように『ギィエ～ッ』と痛くて、もう涙が止まらなくなっちゃうんです」

海での安全を守るための大切なお話を、ユーモアも交えながら伝えるさかなクンの姿に感動しました。

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



最後の質問は、れんかさんが質問した「ジンベエザメ」について。ジンベエザメは世界最大の魚類で、着物の「甚平（じんべえ）」の柄に似ていることから名付けられました。

「ジンベエザメは『テンジクザメ目』の仲間。この仲間、もともとは海底で暮らす1メートルくらいの、おとなしいサメちゃんなんです」



口は前を向き、体は巨大に成長して敵も少ない。口を大きくすることで、口を開くだけでプランクトンが自動的にたくさん入ってくるようになっていったといわれています」

その巨体に秘められた生命の神秘を語ってくれました。

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



そんなこんなで楽しい時間はあっという間！ 最後はさかなクンとのトークショーの思い出に、撮影タイムが始まりました。参加者の皆さん全員に写真を撮ってもらえるようにと、さかなクンはステージの端から端まで、「ギョギョギョー！ピョン！」と一歩ずつ跳ねながら、観客に笑顔を向けてくれました。



「お魚は、見ても、触れても、食べても、本当に元気をいただけます。これからもお魚の感動をたくさんギョ紹介させてください！ では、干からびてきちゃったので、水の世界に戻ります。また元気いっぱいにお会いできるのを、楽しみにしております！」



↑さかなクンが手掛けたお魚剥製コレクションの展示も

「ギョギョギョ～のギョ～！」と、「ギョギョギョのさかなクン音頭」にのせて、ポチャンッと水の世界へ帰っていったさかなクン。次回はいったいどんなお魚をギョ紹介してもらえるのか、楽しみにしていマスッ（鱒）！ 🍣🍣🍣

＼記事をシェアしよう／

Facebook

X

LINE

ニュースを共有

関連リンク



レポート 2026.02.09

おやつ感覚で食べられる”炙りさんま 甘露煮仕立て”まもなく発売！

さかなクン、ラグーナテンボスにギョギョッ！と登場 “55秒”のライブペイント&お魚解説に会場は大盛り上がり！ | 海と日本PROJECT in 愛知県



ホーム

About

お知らせ

イベント

レポート

番組情報